

## 〈九大総理工説明会 Q&A 集〉

1. TOEIC の認定証は TOEIC IP や TOEIC IP オンラインのものでも可能ですか  
→ はい可能です。
2. TOEFL ITP はスコア提出出来ますか。  
→ はい可能です。
3. 英語試験の形式では、TOEIC と同じく選択問題ですか  
→ TOEIC に準じた問題様式です。
4. TOEIC スコアの提出はインターネットの結果のコピーでも大丈夫ですか。  
→ 今年に限り認めます。
5. 英語の筆答試験についての質問です。実際の TOEIC ではビジネス英語や日常会話をメインとした出題をされますが、筆答試験の対策は実際の TOEIC と同様の対策をすればよいと考えてよろしいでしょうか。  
→ TOEIC と同様の対策で結構です。
6. TOEIC は来年度も IP の認定証でもいいのでしょうか？  
→ コロナ禍の今年だけの措置です。来年からは通常の TOEIC テストのみ有効となります。
7. TOEIC と TOEIC IP どちらの成績も持っているのですが評価の差などはありますか？  
→ スコアの高いほうを提出して下さい。
8. 10月25日の TOEIC の結果発送予定が11月24日頃となっているのですが使えないということではよろしいでしょうか。  
→ 入試当日に TOEIC の認定証を持参できれば有効です。持参出来ない場合は無効となります。
9. 先程 TOEIC IP でもよいとおっしゃっていましたが、IP は顔写真付きではないと思うのですが、IP でもよいのでしょうか。  
→ TOEIC IP でも有効です。
10. 入学願書にて TOEIC のスコアを保持しているかを記入する欄がありましたが、試験当日にしかスコアの提出がかなわない場合は有り無しどちらを選択するとよいでしょうか  
→ 有を選択してください。
11. アイエルツや Duolingo のスコアは提出出来ますか  
→ 出来ません。
12. 英語のオンライン試験でのカンニング対策について、翻訳機能等も最近は充実しているためそれを利用したカンニングが行われぬか心配。特に学部の定期試験でもスマートフォンを使ったカンニングが多かったので対策していただきたいです。  
→ 対策しています。詳細は教えることができません。
13. 高専推薦入試の GPA は本科3年から専攻科1年となっていますが、成績証明書については本科1年から専攻科1年までと考えてよいでしょうか。  
→ はいその通りです。
14. 高専推薦入試での GPA はどのように計算すればよろしいでしょうか？  
→ 高専の先生または事務にお願いして下さい。
15. 高専推薦入試について、推薦書に記載する順位は、本科3年から専攻科1年までの成績から算出した GPA による順位でしょうか？  
→ 各高専が定めた順位付け方法があれば、それに従います。無い場合は、GPA による順位を記載して下さい。
16. 高専推薦入試のプレゼンテーションで使うパワーポイントは日本語でしょうか？それとも英語でしょうか？

→ どちらでも構いません。

17. 高専推薦入試は合格報告が10月5日にあるということでしたが、一般の口述は合否の知らせはないのでしょうか。

→ 10月5日には正式な合格発表はありませんが、合否はお知らせします。

18. 高専推薦入試の募集要項の出願書類の一覧に記載が無かったのですが、出願手続きに卒業見込証明書や学位授与申請予定証明書は必要でしょうか？

→ 出願書類一覧に書かれていないものは不要です。

19. 一般入試の口述試験を受けたい場合は、推薦書は必要でしょうか？

→ 不要です

20. 一般入試の口述試験の対象となるかどうかは何で判断されるのでしょうか

→ 高専（本科，専攻科）の成績および主体性・多様性・協働性に優れているか、で判断します。

21. 一般入試の口述試験では定員の何割程度の募集でしょうか、また口述試験に合格した場合入学を約束しなければならないのでしょうか

→ 募集人数は非公開です。入学を約束する義務はありませんが、九州大学としてはそれを前提に本入試を行います。

22. 一般入試の口述試験において、専門科目の知識に関する説明をしなくてはならないと思うのですが、それは1科目だけでしょうか？それとも複数科目の知識について説明する必要があるのでしょうか？

→ 1科目です。

23. 一般入試の口述試験の日程が2日間とのことなのですが、2日間とも試験があるのでしょうか。どちらか片方の日程で試験があるのでしょうか。

→ 二日間とも試験があります。

24. 一般入試の口述試験では、2日間行われることになっていますが、この2日間とも口述試験が行われるのでしょうか。初日に専門知識、2日目に英語や志望動機などのように内容ごとに分けられているのでしょうか。

→ 受験票とともに日程表が送付されます。そちらを見て下さい。

25. 一般入試の口述試験についてです。プレゼンは各研究室によって形式は異なると思うのですが、志望する研究室の先生に尋ねた方がいいですか？

→ はい、そのようにお願いします。

26. 一般入試の口述試験を受けたいときは、推薦書は必要ですか。

→ 不要です。

27. 一般入試の筆頭試験において、Ⅲ類受験で第2希望以降の研究室をⅡ類の研究室にする場合、数学3題を選択した場合でも受験可能でしょうか。

→ Ⅱ類では数学2問、専門科目2問を課しています。数学を3題選択した場合、Ⅱ類の研究室は選べないこととなります。

28. 一般入試の筆頭試験の面接では口頭試問のような問題が問われるのでしょうか？

→ 一概には言えませんが、口頭試問よりも簡易的な質問となるようです。

29. 1類の筆頭試験について、専門科目の数がスライドと募集要項で異なっていたのですがどちらが正しいのでしょうか

→ 済みません。募集要項の方が正しいです。

30. 2類の筆記試験について質問があります。英語、数学、専門科目の配点はどれくらいでしょうか？

→ 配点は公開していません。

31. 院試の日程は今後も10-11月ですか？それとも今年の特別事情ですか？

→ 今回のみの日程です。来年からはこれまでと同様な試験日程（7~8月）となります。

32. 口述試験の選考を受けることのできる基準

→ 公開していません。

33. 新しい総理工では AI やデータサイエンスなどの情報系教育に力を入れたいと冒頭で言われていましたが、それは情報系の授業を開設するだけで、情報系の研究室を5つぐらい新設という意味ではないのでしょうか？

→ 情報系の授業の設定と、情報系の研究室が現在1つ設置されています。情報科学を扱う研究室は今後も増えると思われます。

34. 試験では GPA も評価基準の一つに入るのでしょか

→ 入ります。

35. 選択問題について、事前に選択する問題を決めずに、当日全ての問題を見てから選択できるという認識でよろしいでしょうか。

→ はい試験開始後に選択可能です。

36. 数学の線形代数の出題範囲で写像は含まれますか。

→ 出題範囲に含まれます。

37. I類の過去問は現在のどの専攻のものとけば良いですか？

→ 数学は全専攻、専門科目は現在の物質理工学専攻と量子プロセス理工学専攻の問題が主に適合します。

38. I類を志望しているものです。化学工学の過去問を見たいのですが、物質理工学専攻の過去問には載っていませんでした。どちらの旧専攻の過去問を取り寄せればよろしいでしょうか。教えていただくと幸いです。

→ 先端エネルギー理工学専攻の過去問が適合します。

39. II類、III類の「熱・統計力学」についてはどの専攻の過去問を参考にすればいいですか？

→ 先端エネルギー理工学専攻の関連科目（物理学）、大気海洋環境システム学専攻の熱力学の過去問を参考にしてください。大気海洋環境システム学専攻の熱力学の過去問に関しては、熱力学の部分はありますが、統計力学は入っていないのでこの点に注意して参考にしてください。また量子統計力学は熱・統計力学の出題範囲には含まれません。

40. III類の専門科目の新入試科目と旧入試科目の対応について教えてください。

→ III類の入試区分における専門科目の新入試科目と旧入試科目の対応については下記の通りです。なお、過去問はあくまで参考資料であり、出題形式、問題数、解答時間等、新入試と同じではないのでご注意ください。また、新入試では各入試区分における同一科目名の問題は、共通問題となります。

・新科目 力学

→ 大気海洋環境システム学専攻の力学、および先端エネルギー理工学専攻の関連科目（物理学）の過去問を参考にしてください。

・新科目 材料力学

→ 物質理工学専攻の材料力学、および大気海洋環境システム学専攻の材料力学の過去問を参考にしてください。

・新科目 熱・統計力学

→ 先端エネルギー理工学専攻の関連科目（物理学）、大気海洋環境システム学専攻の熱力学の過去問を参考にしてください。大気海洋環境システム学専攻の熱力学の過去問に関しては、熱力学の部分はありますが、統計力学は入っていないのでこの点に注意して参考にしてください。また量子統計力学は熱・統計力学の出題範囲には含まれません。

・新科目 工業熱力学・伝熱学

→ 環境エネルギー工学専攻の熱力学及び伝熱学、および先端エネルギー理工学専攻の関連科目（機械・エネ

ルギー工学)の過去問を参考にしてください。

・新科目 流体力学・水力学

→ 環境エネルギー工学専攻の水力学及び流体力学, 大気海洋環境システム学専攻の水工学, 先端エネルギー工学専攻の関連科目(機械・エネルギー工学)の過去問を参考にしてください。

・新科目 環境工学

→ 環境エネルギー工学専攻の建築環境工学の過去問を参考にしてください。

41. 4点質問です。1点目、数学の微分方程式は偏微分方程式も含まれているのでしょうか? 2点目、工業熱力学は反応速度や標準生成ギブスエネルギーのような化学反応に関わる内容が除かれているのでしょうか? 3点目、筆頭試験は電卓を持ち込んでいいのでしょうか? 4点目、入学後の授業科目は改組によりこれまでと変わるのですか?
- 出題範囲は募集要項を参照してください。電卓については、受験票とともに送付する文書に書かれています。改組後の授業科目は一部変わります。
42. 数学の微分方程式の範囲は偏微分方程式と常微分方程式ということよろしいでしょうか?
- 出題範囲は募集要項を参照してください。
43. 数学は5つの科目がありますが、全ての先攻の過去問を勉強すべきでしょうか。それぞれ参考にすべき専攻の過去問は決まっていますか。
- 全ての専攻の過去問を勉強して下さい。
44. 郵送では過去問は3年分しかもらえないのですか?
- 現在の各専攻で異なります。
45. 数学は全ての専攻において先端エネルギー専攻の過去問と同じ範囲・問題でしょうか。
- 異なります。出題範囲は募集要項を見て下さい。過去問を参考にされる場合は全専攻分を参考にして下さい。
46. 複数の専攻の過去問を同時に取り寄せることは可能でしょうか。
- 各専攻に依頼して下さい。
47. 大学の成績証明書には順位は記載されていないのですが、順位の記載は必要ですか?
- 不要です。
48. 2点質問です。1つ目として、私は本科と専攻科で学校が別なのですが、本科3年次～専攻科1年までのGPAの計算はどのようにすれば良いのでしょうか。2つ目として、本科の成績証明書は1年～4年までしか発行されないのですが、5年生分も必要でしょうか。
- 本科3,4年次と専攻科1年次を別個に提出して下さい。原則として5年生の成績表が必要です。
49. 2つの類の共通専門科目は、分野が共通ということでしょうか。それとも問題も同じなんでしょうか。
- 問題も同じです。
50. 例年の量子プロセスの出題問題では量子力学と固体物性が2題ずつで、自分はそのつもりで勉強していたのですが、今年は一類で1題ずつしか出ていません。逆に金属材料学は1題から2題に増えていますが、なぜでしょうか?
- I類は、現在の物質理工学専攻と量子プロセス理工学で構成されます。よって、物質に関連した科目が増えます。量子力学と固体物性学が1問ずつに減った分、電磁気学、電気回路(過渡現象論)を加え、より広範な専門の学生がI類を志望できるように配慮しました。
51. 1類の無機分析は今年から別々で出題されるということでしょうか。
- 出題範囲は昨年度の量子・物質・先端の材料系科目の範囲と同じにしております。科目については募集要項をご覧ください。
52. 一般入試の出題範囲表を出される予定はあるのでしょうか?
- 募集要項に出題範囲を記載しています。

53. 1、2 類の試験科目の電気回路には、過渡現象論と書かれておりますが、内容は過渡現象のみと考えてよろしいですか。
- 過渡現象以外も出題範囲となります。
54. ラプラス変換、制御工学は出題範囲外ということよろしいでしょうか。
- はい、その通りです。
55. 現在大学 3 年生でも研究室訪問してもよろしいでしょうか？
- はい、もちろん構いません。